

当社は「産業の進化と環境の保全の両立」を機軸に、より高度化するお客様のニーズに対応できる先進のテクノロジーを追求するとともに、自然や環境との共生を意識したカーボンニュートラル経営を推進しています。
今回の計画では、本社工場の増設及びめっきライン（ラック式・フープ式）の刷新を行います。これらにより、製品の製造時に排出される稼働当たりのCO₂排出量を低減し、炭素生産性の向上を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2025年3月～2028年2月

2. 生産性向上目標

当社全体の炭素生産性を12.27%向上することを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

主に電子部品や機械部品など多彩な金属素材へのめっき加工を行う長野市の本社工場において、本社工場の増設や、省エネタイプのチラー設備を配備しためっきライン（ラック式・フープ式）の導入を行います。その他、太陽光発電設備を導入し、自家発電した電気を工場内で活用します。これらにより、稼働当たりのCO₂排出量を低減し、炭素生産性の向上を図ります。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<長野市本社工場の外観>

